

所属名	事務事業名	ページ番号
DX推進課	DX推進事業	2
DX推進課	スマートシティ推進経費	3
DX推進課	フロントヤード改革関連経費	4
DX推進課	A I・ロボティクス活用推進事業	5
DX推進課	自体統計調査事業	6
DX推進課	基幹統計調査事業	7
DX推進課	調査員確保対策事業	8

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	DX推進事業		事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	DX推進課 DX支援係		担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち		
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進		
	基本事業	電子自治体化の推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要	国の「自治体DX推進計画」において、自治体に取り組むべきとされている事項・内容について、円滑に実施していくために必要な事業				
事業の対象者	市職員				
令和6年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新規デジタルサービス創出に向けたワーキンググループによる事業研究、DXに取り組むための一般職及び管理職に向けた組織転換についての研修及びデータ活用のための研修を実施した。 ・データ駆動型社会へ向けた整備のために本市が所有する多種多様なデータを一元的に管理するデータ・マネジメント・システムを構築した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			4,961	7,953	64,658
うち佐賀市の負担額			0	2,173	22,736

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
研修の理解度						%
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
		80	80	80		
		88	81	80		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	ワーキンググループの開催や研修等の実施により、DX推進やデータ活用に関する機運が高まっている。



今後の改善策、対応策等
全庁的なDX推進に向けて、継続してDX人材の育成に加え、データ活用、技術等の習得のため、研修や情報提供等を実施する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スマートシティ推進事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	DX推進課 スマートシティ推進室	担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	電子自治体化の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	本市では令和4年3月に「佐賀市DX推進方針」を策定し、7月には「佐賀市スマートシティ宣言」を行った。「スマート・ローカル！SAGACITY」の実現を目指すために必要な事業。				
事業の対象者	佐賀市民、佐賀市職員				
令和6年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民とのデジタルタッチポイントである「佐賀市公式スーパーアプリ」を一般公開し、利用者の意見や要望を参考に合計4回のバージョンアップを実施した。 ・データ駆動型社会実現のために令和5年度に整備したデータ連携基盤の活用を推進した。 ・「スマート・ローカル！SAGACITY」の推進体制として、地元企業や大学、IT企業等からなるスマートシティ推進協議会を設置し、合計2回の協議を実施した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			75,185	175,220	158,842
うち佐賀市の負担額			0	87,739	57,553

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市公式スーパーアプリのインストール数						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
		20	20,000	40,000		
		20	39,779	69,152		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	合計3回のバージョンアップ、市長定例記者会見や市報、チラシ等の作成・配布による広報や他事業と連携したインストール促進など、ハードとソフトの両面から成果目標達成に向けた施策を実施した。

今後の改善策、対応策等

今後も定期的なバージョンアップを行い、機能拡張やUI/UXの向上を図る。また、市長定例記者会見や市報、チラシ配布による広報などさまざまな広報媒体を活用して佐賀市公式スーパーアプリのインストール促進を実施する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

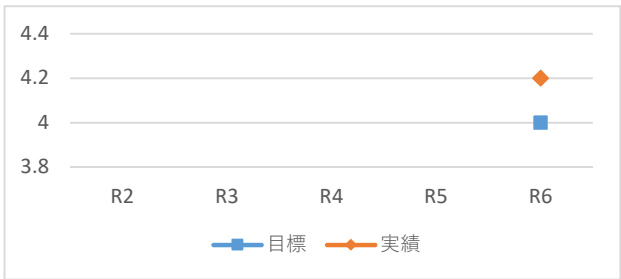
事務事業名	フロントヤード改革関連事業	事業期間	令和 6 ~ 令和 年度
担当部署・係名	D X 推進課スマートシティ推進室	担当課長名	木原敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	電子自治体化の推進	

1 事務事業の基本情報

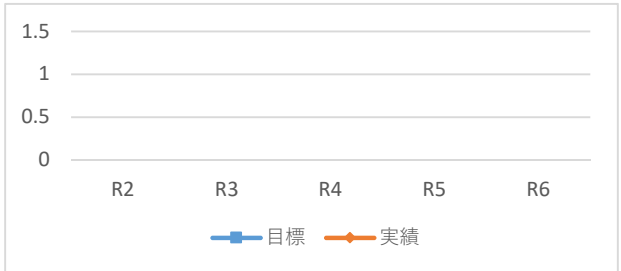
事業概要	これまで本庁でのみ受付していた手続の一部について、支所の窓口と本庁の担当部署をオンラインで接続し、支所において手続できるようにするリモート窓口システムを整備、運用する。 ※令和6年度に2支所で運用を開始し、令和7年度に全支所に拡充する。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート窓口システムを導入するため庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、対象手続の選定、システムの仕様の策定及び実施支所の選定等の検討を行った。 ・公募型プロポーザルを実施し、利用するシステムを選定した。 ・令和7年2月5日から大和支所及び川副支所においてリモート窓口の運用を開始した。 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					17,304
うち佐賀市の負担額					8,652

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
1日当たりの利用件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					4	
					4.2	



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	全支所にヒアリングを行い本庁に案内することが多い手続を対象手続に選定したため、1日当たりの利用件数については目標を達成することができた。



今後の改善策、対応策等
令和7年度に全支所においてリモート窓口を利用できるようにするため、必要な機器の調達等を実施する。また、支所のネットワークが不安定になることでシステムが利用できなくなることが発生したため、ネットワークの見直しを実施する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	A I・ロボティクス活用推進事業	事業期間	令和 元 ~ 年度
担当部署・係名	DX推進課 DX支援係	担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	電子自治体化の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	A IやR P A等の最先端のI C T技術を活用して庁内の定型業務の自動化を図り、空いた時間を市民対応の強化や施策検討など、職員にしかできない業務にあてることで、市民サービスの更なる向上を図ることを目指す。				
事業の対象者	職員				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・A I 議事録等作成支援システムの運用 ・A I チャットボットシステムの運用 ・A I - O C Rの運用 ・R P Aの運用及び追加適用のためのシナリオ作成 等 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	12,366	12,562	9,988	9,582	9,758
うち佐賀市の負担額	12,300	12,496	9,922	9,516	9,692

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
削減された職員の作業時間						時間
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,402	4,191 6,926	4,191 6,448	4,191 7,065	4,191 6,713		

年度	目標	実績
R2	3,402	3,402
R3	4,191	6,926
R4	4,191	6,448
R5	4,191	7,065
R6	4,191	6,713

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0.3	0.3
R3	0.4	0.7
R4	0.4	0.6
R5	0.4	0.7
R6	0.4	0.6

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	AI-OCRについて令和5年度のみ処理する業務等があったことから前年度実績を下回ったが、システムを新規に利用する部署及び業務が増加したことから目標を達成した。



今後の改善策、対応策等
A IやR P A等の最先端のI C T技術の利便性を職員に周知し、各システムを利用する部署及び業務の拡大を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自体統計調査事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	D X 推進課 統計データ活用係	担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民が必要な統計情報を利用できるように、 ①統計刊行物の作成と提供を行う。 ②統計情報の紹介を行う。				
事業の対象者	市民、事業所				
令和6年度 主な活動実績	「佐賀市のすがた」4,000部を発行 「佐賀市のすがた」音声版10部を作成 「令和5年版佐賀市統計データ」を作成しホームページ上で公開 佐賀大学との連携事業として、統計に関わる講義（リサーチ・リテラシーⅠ、履修登録者120名）において、国が行う統計について講義を実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,930	4,465	5,267	5,895	7,621
うち佐賀市の負担額	3,908	4,443	5,245	5,873	7,597

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
統計データHPアクセス数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9,877	10,000 8,004	10,000 7,684	10,000 9,118	10,000 12,640		

年度	目標	実績
R2	10,000	9,877
R3	10,000	8,004
R4	10,000	7,684
R5	10,000	9,118
R6	10,000	12,640

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	1.0	0.0
R3	1.0	0.0
R4	1.0	0.0
R5	1.0	0.0
R6	1.0	0.0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	外部から統計についての問い合わせがあった際に、回答と合わせてホームページを案内している。また、データ活用やEBPMに関する機運が高まっている。



今後の改善策、対応策等
データ分析ツール等を活用し、ホームページに公開している統計データの可視化（グラフ等視覚的な表示方法を用いてデータの傾向などを理解しやすくする）を図り、市民等に関心を寄せてもらえるような工夫を検討する。 また、市報やホームページなどで、統計情報の紹介や佐賀県が主催する統計データフェアの広報を行い、市民に興味を持ってもらえるようにする。

令和7年度 事務事業実績報告シート

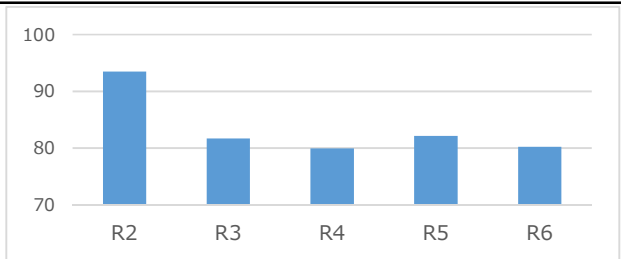
事務事業名	基幹統計調査事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	D X 推進課 統計データ活用係	担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

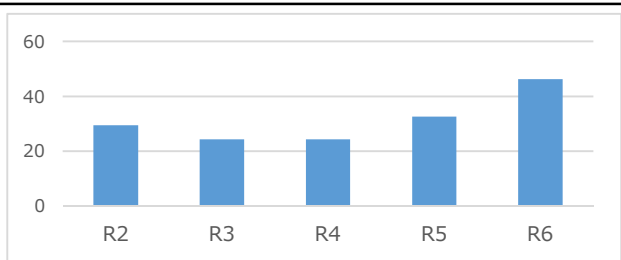
事業概要・目的	国が実施する基幹統計調査の事務の一部を行う。 1. 県統計分析課に指導員・調査員を推薦 2. 国からの委託調査を実行する				
事業の対象者	世帯、事業所				
根拠法令等	統計法、統計法施行令、地方財政法、佐賀県統計調査事務市町交付金取扱要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	4,088	9,880	9,390	11,449	24,110
うち佐賀市の負担額	0	0	157	50	60

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
調査票回収率					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
93.5	81.7	80.0	82.1	80.2	



活動実績②					単位
オンライン回答率					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
29.5	24.3	24.3	32.7	46.3	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和6年度は学校基本調査、経済センサ基礎調査（乙調査）、令和7年国勢調査三次試験調査、全国家計構造調査、農林業センサを実施した。

個人情報への意識の高まりによる調査拒否、オートロックマンションの増加や新型コロナウイルス感染症による対面の機会の減少等により、年々調査が困難になってきている。

統計調査の趣旨や重要性の周知及びセキュリティの万全なオンライン回答を促進するなどの対策を取る必要がある。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	調査員確保対策事業	事業期間	昭和 50 ~ 年度
担当部署・係名	D X 推進課 統計データ活用係	担当課長名	木原 敏雅
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	①安定した統計調査を行うために、登録調査員（非常勤の公務員）を確保する。 ②毎年1回基幹統計調査の実施報告及び法律や待遇等に関する研修を行い調査員の調査能力の向上を図る。				
事業の対象者	20歳以上の市民（警察、税務、選挙に直接関係する者を除く）				
令和6年度 主な活動実績	市報にて登録調査員の募集を行った。 既登録調査員へ登録継続の依頼を行った。 コロナ感染症対策のため研修は行わなかった。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56	84	47	54	58
うち佐賀市の負担額	0	16	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
登録調査員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
197	210 168	220 175	230 168	250 160		

Year	Target	Actual
R2	197	197
R3	210	168
R4	220	175
R5	230	168
R6	250	160

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	個人情報に関する意識の高まりから、統計調査に関する非協力的な世帯が増えてきており、登録調査員からも辞退の申し出が増えてきている。また、若い世代の登録者が少なく、高齢化が進んでいる。



今後の改善策、対応策等
ホームページや市報の他、多くの方の目にとまる場所へ募集案内を設置する等、効果的な広報方法を検討する。統計調査員の活動は所定の勤務時間はなく、期間内に仕事を終える範囲で自身のペースで調査活動を行うことが出来るといった利点や調査結果の活用事例の紹介等を積極的に行い、やりがいのある活動であることの周知を図る。